



# 共 育

遊具広場では、新しい1年生を交えて子どもたちの元気な声が溢れています。

今年度もいよいよスタートしました。

年度の初めは、学校生活が節度ある中にも温かく和やかなものになるように職員一同、力を合わせて取り組んでいます。今年も校長室だよりでは、本校の教育活動を広く知っていただくための情報を中心に発信していきたいと考えています。今年度もよろしくお祈りします。

## <今年度、力を入れたい教育活動>

(1) 児童が、自他を尊重し、豊かな人間関係を作ろうとする資質や能力を養う。

- ・「自分も大事、みんなも大事」の考えを根底に、友だちと共感的に関わり合う場面を大切にする。
- ・縦割り班活動を学校生活のいろいろな場面で意識し、学校全体で育ちあう風土を作る。
- ・ほっとタイムの時間を通して、日々の生活のよい行いやみんなで考えたいことについて共有する。
- ・係活動や児童委員会などを活用しながら、児童が自ら考え、自主的に動く場面を多く取り入れる。



(2) 教科・領域の基礎・基本の定着を図るとともに、それらを活かして主体的・協働的に課題を解決しようとする態度を養う。



- ・100マス計算、視写で朝のリズムを整える。
- ・児童が自主的に前の時間をふりかえり、教師と共に授業の課題を決めていく授業を目指す。
- ・学びあい活動に、ホワイトボードなどを使ってみんなが協力して取り組む学習を進める。
- ・授業や活動のまとめやふりかえりの場面で、自分のことばで考えをまとめる経験を積ませる。
- ・授業で学んだことを積極的に使い、考えをまとめたり課題を解決したりする授業づくりに努める。
- ・グッドラーナーズランドで学年を超えた学びあい活動を行う。

(3) 生活科・総合的な学習の時間を中心に、教育活動全般を通して人権教育を推進し、実社会や実生活に根付いた学習を取り入れる。

- ・生活科や総合的な学習の時間で人権をテーマにした学習を進める。
- ・身の回りの人たちとの関わりや、お年寄りや体の不自由な方との関わり、社会全体を見渡した関わりなどの中で、「みんなが幸せに生活するには、どうすればいいか」について考える機会を持つ。
- ・人権について「知る」「課題を見つける」「考える」「経験する」などの活動を計画的に設定し、解決が難しい問題にも真剣に向き合う場面を作る。



(4) 家庭学習の充実を図り、児童が主体的に学習に取り組む姿勢を養う。

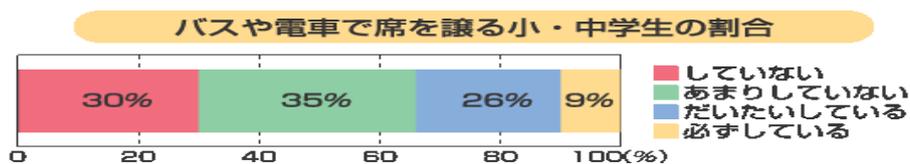
- ・学年に応じた家庭学習を設定し、児童が自ら計画的に家庭学習に取り組めるように働きかける。
- ・家庭学習と授業を連動させ、効果的な家庭学習の習慣づけを目指す。
- ・家庭と連携して読書活動を推進し、自ら本を手に取り、読書を楽しむ児童を育む。
- ・家庭との連携を密にし、人権について共に考え、豊かな人権感覚を養う。

<参 考>

## 人からもらう幸せだけでなく、 人のためにできる幸せもある。

「バスや電車で席を譲ること」を小・中学生の65%は「していない」「あまりしていない」と答えています。弱い人を思いやり、行動する愛情や勇気をもった人に育てるために何ができるでしょう。

思いやりの心は、幼少のころからの日常における実践を通してはぐくまれます。まず親が率先してやってみせながら、子どもたちが自然に妊婦や高齢者に席を譲ったり、障害のある人などが困っているときに声をかけたりすることができるようにしつけを行うことが大切です。



(注) 全国の公立小学校2・4・6年生、中学校2年生約10,000人を対象に調査  
資料:「子どもの体験活動等に関するアンケート調査」平成10年・文部省(当時)

新家庭教育手帳(文部科学省)

お詫び

学校だより4月号でご紹介した学級組織でしらとり学級とつくし学級の担任名が反対でした。

しらとり学級担任 湯口美咲 つくし学級担任 濱辺 巖 訂正してお詫びいたします。